

東西南北 201710

今年は急に涼しくなった感じがする。夏の暑さが厳しかったせいかな、台風のせいかもしれない。宇沢弘文先生の「人間の経済」という本を手にした。横倉義武日本医師会長が学生講義に来られたときに紹介されたものだった。経済の本ではあるが、人間は心があってはじめて存在するという思想が脈々と流れており、素人にも分かるように書いてある。志をもって献身的に働く医師の職業意識を経済的効率化の名の下に管理したために崩壊への道を進んだ英国の経緯が端的に示されている。日本の医療を社会的共通資本としての核心的部分と評し、その営みは人間的立場で協力して守る必要があると説いている。Death-Ratioと言う恐ろしい言葉も初めて知った。数字や図表で示される経営の向こう側に患者と医療関係者、学生と教員が生きていることを忘れがちだったと反省している。一読をお勧めする。